りんごの輸出

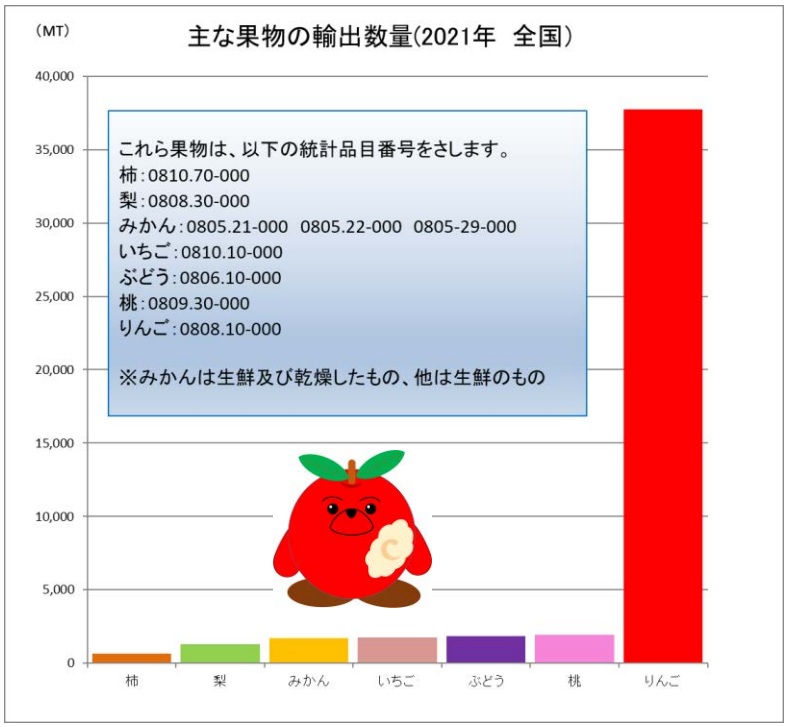
令和 4 年 3 月 16 日
横　浜　税　関

2021 年　全国の数量・金額はともに過去最高
横浜港の金額も過去最高
数量は過去第 2 位（第 1 位は 2019 年）
全国の数量・金額の 7 割以上が台湾向け
～甘くておいしく、安全で見た目もよい
日本のりんごは、海外でも人気～

はじめに

甘味と酸味のバランス、そしてかりっとした歯触りのりんごは、子どもから大人まで大人気！近年、農林水産物・食品の輸出拡大に向け様々な取り組みが行われており、りんごやいちご等いろいろな果物が日本から輸出されています。以下のグラフを見てもわかるとおり、果物の中でも、りんごの輸出数量は圧倒的に多く、海外で人気があることがよくわかります。

業界によると、りんごの輸出が多い理由は、日本のりんごはおいしいと評判があり、また、りんごは長期保存が効き、船で大量に輸送できるので、航空便ほどコストがかからないこと、さらには、青森りんごは明治時代から輸出の歴史があり、関係者が常に海外を販路のひとつと意識し努力してきたからだそうです。



2020 年の国内におけるりんごの収穫量は、76 万 3,300 トンで、そのうち青森県が 46 万 3,000 トンと都道府県別で全体の 61%を占め、第 1 位です。

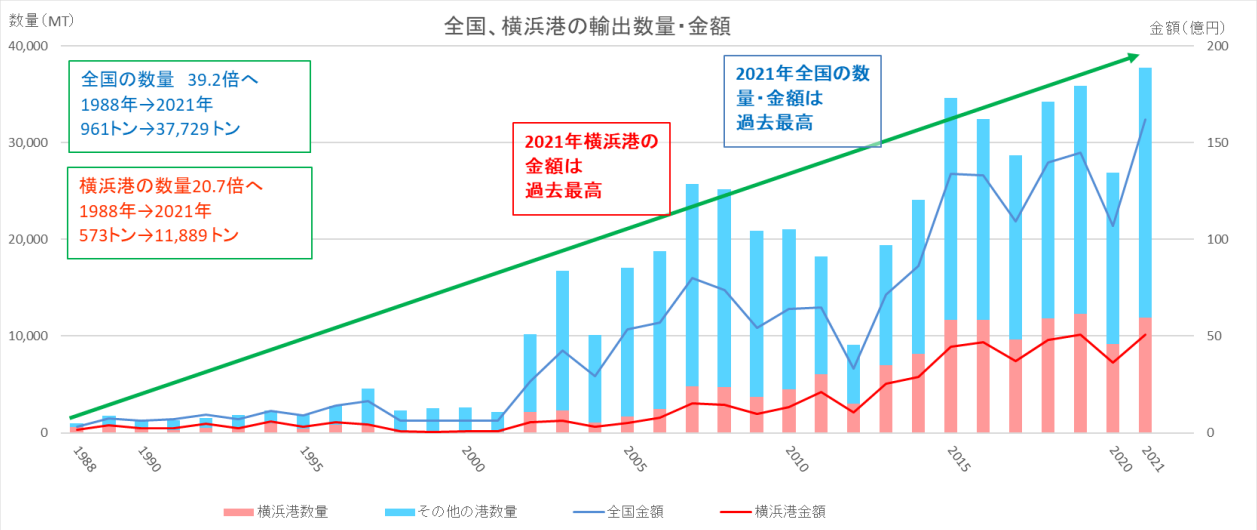
（出典：農林水産省　果樹生産出荷統計）

今回は、日本から輸出される果物の中でも、輸出数量が多い「りんごの輸出」について特集します。

・本特集の「りんごの輸出」は、以下の統計品目番号をとりまとめたものです。
　0808.10-000　りんご（生鮮のものに限る。）
・「過去最高」とは、比較可能な 1988 年以降のデータを基礎として比較したものです。

輸出動向

【輸出数量推移】1988 年の全国の輸出数量はわずか 961 トンでしたが、2002 年には 10,210 トン（1988 年の約 10.6 倍）となり、その後も約 1 万トン～3 万トン台で推移し、2021 年には過去最高の 37,729 トン（1988 年の約 39.2 倍）となりました。横浜港も、1988 年はわずか 573 トンでしたが、2002 年には 2,161 トン（1988 年の約 3.8 倍）となり、その後も増加傾向で推移し、2021 年には過去 2 番目の 11,889 トン（1988 年の約 20.7 倍）に増えました。



【2002 年～】2002 年頃から輸出数量が増えています。業界によると、台湾が 2002 年に WTO に加盟し、輸入自由化に伴う数量枠の撤廃や関税率の引き下げにより、台湾向けの輸出数量は飛躍的に増えたとのことです。また、2011 年以降、減少しているのは、円高の進行で現地での割高感が高まったことや不作により価格が高騰したこと、さらに東日本大震災の影響もあったことが要因として考えられるそうです。

その後、りんごの生産地である青森県や関係団体が連携して輸出量の回復に努めたことや為替が円安に転じたこと、さらに香港向け輸出が増加し始めたこと等から、輸出は回復してきました。さらに、輸出促進策として、青森県知事によるトップセールス、現地事業者との意見交換、相手国のマーケット調査、小売店舗における試食等の販売促進、マスコミを活用したプロモーション活動等、積極的に取り組んだ結果、日本のおいしいりんごが現地の人々に浸透しました。そして、ここ数年、2 万トン後半～3 万トン台での輸出が続いています。

台湾でのプロモーション

台湾での販売状況

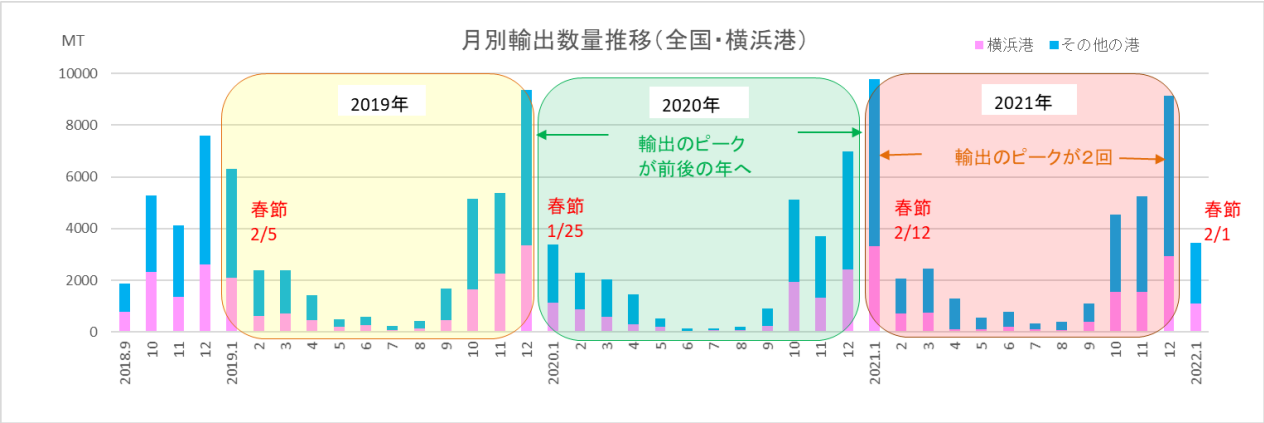
また、アジアを中心に海外の消費者の所得が向上し、訪日外国人の増加を通じて、日本の食品の魅力が海外に広まっていることも、輸出拡大の要因のひとつです。

【2020～21 年】2020 年に輸出数量が減少したのは、2020 年の中華圏の春節需要が前後の年にずれ込んだことが大きな要因だそうです。

通常、りんごは、10 月～1 月に輸出数量が増加し、12 月～1 月に輸出のピークを迎えます。特に台湾等では贈答用途等に春節「前」に需要が多くなるので、日本で 8 月～11 月に収穫後、そのニーズに応えるため 12 月～1 月に輸出されるからです。

春節はその年によって時期が変わります。詳しくみてみると、2020 年の春節は 1 月 25 日と早かったため、前年 2019 年 12 月に輸出が増加しましたが、2021 年の春節は 2 月 12 日と遅かったため、翌年 2021 年の 1 月に輸出がずれ込み、結果として 2020 年に大きな輸出のピークがなかったため、輸出数量が減少しました。

一方、2022 年の春節は 2 月 1 日と早かったため、2021 年 12 月に輸出が増え、結果、2021 年は輸出のピークが 1 月と 12 月の 2 回あったため、輸出数量が増加しました。

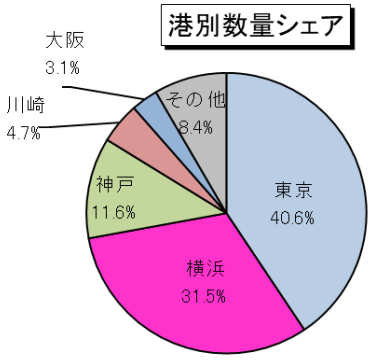


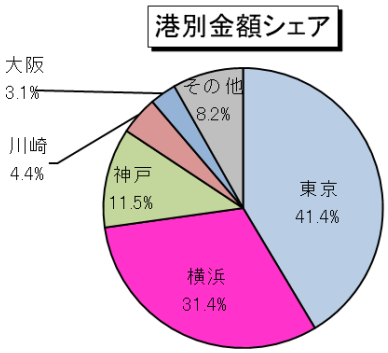
港別の輸出シェア

2021 年の港別輸出シェアは、以下の円グラフのとおりです。東京港・横浜港の 2 港で、数量・金額ともに全体の 7 割以上を占めています。

業界によると、りんごは長期保存がきく果物であることから、船便の冷蔵コンテナで運送され、これら 2 港は、アジア各地へのコンテナ船の直行航路が充実しており、輸送が便利であるため、とのことです。

また、横浜港は、温度管理の必要な食品を取り扱っている歴史が長く、その扱いに慣れている業者が多いこと等から、物流拠点として利便性が高いとのことです。





仕向国（地域）別の輸出シェア

2021 年、全国では 15 か国、横浜港では 7 か国を仕向国（地域）としてりんごが輸出されました。表のとおり、数量・金額ともに台湾への輸出が 7 割以上、香港が 2 割程度、その他東南アジアの国々が続いています。これらの地域は、暖かい気候であり、りんごの栽培に適していないことから、輸入りんごの需要があります。

業界によると、台湾ではサンふじやトキの大玉が贈答用として人気ですが、これらの中小玉も家庭消費向けに需要が高まっています。特に、春節前は大玉で赤いもの（世界一、陸奥）の需要が高まります。香港では黄色系で甘味の強い王林が他国産にない特徴から好まれ、東南アジア各国では、贈答用の大玉で見た目のよいもの（世界一、陸奥、金星）や黄色系で甘味の強い王林も人気があるそうです。

全　国　　2021 年

国名	数量（トン）	構成比	輸出額（百万円）	構成比
台湾	27,194	72.1%	11,825	72.9%
香港	8,706	23.1%	3,503	21.6%
タイ	920	2.4%	404	2.5%
ベトナム	395	1.0%	241	1.5%
シンガポール	339	0.9%	139	0.9%
その他	174	0.5%	100	0.6%
計	37,729	100.0%	16,212	100.0%

横浜港　　2021 年

国名	数量（トン）	構成比	輸出額（百万円）	構成比
台湾	9,286	78.1%	4,041	79.4%
香港	2,162	18.2%	795	15.6%
ベトナム	258	2.2%	162	3.2%
シンガポール	131	1.1%	60	1.2%
タイ	42	0.3%	21	0.4%
その他	10	0.1%	6	0.1%
計	11,889	100.0%	5,086	100.0%

サンふじ

ト　　キ

世　界　一

陸　奥

王　林

金　星

今後の見通し

業界では、りんごの輸出について、

① 日本のりんごは、品質が良く、贈答用の大玉だけでなく、最近では家庭消費向けの値頃感のある中小玉の需要もあること
② 香港では現在、黄色系りんごが人気であるが、赤色系りんごの需要を開拓することで輸出増加が見込まれること
③ 東南アジア各国の経済成長に伴い、マーケットの拡大が見込まれること

等から、今後も堅調に推移していくものとみています。

ミニコラム：りんごのスターカット

りんごを横にして輪切りにするカット法。真ん中の芯の部分が星「☆」の形に見えることから「スターカット」と呼ばれています。

【①皮ごと食べて栄養 UP！】
皮や皮の近くに多い食物繊維やビタミン類を無駄なく摂ることができます。

【②食べられるところが多い】
りんごを縦にして、くし形にカットするより、スターカットの方が食べられる量が増えてお得！
また廃棄量も少なく、生ごみが減ってエコ！

【③食べやすい】
果肉に対して皮の面積が少ないから、皮つきでも食べやすい。

【出典】（一社）青森県りんご対策協議会資料

【取材協力】青森県観光国際戦略局国際経済課、（一社）青森県りんご対策協議会、青森トレーディング（株）　他（五十音順）

【写真提供】（一社）青森県りんご対策協議会

【この資料に関する問い合わせ】
横浜税関 調査部 調査統計課　Tel 045-212-6100（直通）
〒231-8401　横浜市中区海岸通 1－1　（横浜税関 本関庁舎 1 階）
https://www.customs.go.jp/yokohama/
本資料を他に転載するときには、横浜税関の資料による旨を必ず注記して下さい。

りんごのミニ知識

Q：りんごの蜜は甘くないの？

A：ハチミツのようなキレイな色のりんごの蜜。見た目はとっても甘そうに見えますよね。でも、りんごの蜜自体は周りの果肉よりも甘いわけではありません。ただ、蜜入りりんごは完熟している証拠なので、美味しいりんごと言えます。また、最近では蜜入りりんごを美味しく感じる理由として、蜜入りりんご特有の香りが関係していることも分かってきています。

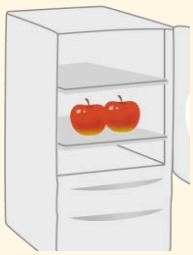
おいしく食べるため保存について

Q：りんごは冷やすと甘くなるってほんと？

A：本当です。りんごに含まれる糖分の中で一番割合が多いのが「果糖」です。りんごなどの果物に含まれている果糖は、低温になると甘味が増します。また、りんごは温度変化に弱い果物です。「冷蔵庫から取り出し、一日あたたかい室内に置いたままにして、再び冷蔵庫に戻す」などすると、品質が劣化してしまいます。購入したりんごを冷蔵庫に入れたら、食べるタイミングまでは冷蔵庫から出し入れしないことをおすすめします。

Q：りんごの正しい保存方法は？

A：りんごは基本的に暑いところが苦手です。おうちで保存する時は、りんごの水分が蒸発しないようにポリ袋等に入れてしっかりと口を閉じ、冷蔵庫の野菜室などに入れてあげましょう。更に箱買いなどでりんごが大量にあり、長く保存する必要がある場合は、りんごを1個ずつ新聞紙やキッチンペーパー等に包んでからポリ袋に入れるとよいでしょう。



Q：りんごとキウイを一緒に入れると？

A：キウイフルーツを食べる時、硬いなと感じた時は、りんごと一緒にビニール袋に入れておいてみてください。りんごからはエチレンという、果物を熟させる気体が出ているので、キウイフルーツを熟させて、美味しくしてくれます。

【出典】（一社）青森県りんご対策協議会資料

りんごの輸出に係る各種データ

1. 全国と横浜港の輸出実績推移

※2021年は確々報値、その他は確定値

年	全国					横浜港						
	数量(MT)	前年比	金額(百万円)	前年比	通関単価(円/KG)	数量(MT)	前年比	全国比	金額(百万円)	前年比	全国比	通関単価(円/KG)
1988	961	-	305	-	317	573	-	59.6%	157	-	51.6%	274
1989	1,774	184.5%	752	246.9%	424	769	134.1%	43.4%	405	257.8%	53.9%	527
1990	1,400	79.0%	607	80.8%	434	394	51.2%	28.1%	222	54.8%	36.6%	565
1991	1,325	94.6%	686	113.0%	518	288	73.3%	21.8%	225	101.4%	32.8%	781
1992	1,523	115.0%	952	138.7%	625	499	173.2%	32.8%	478	212.0%	50.2%	956
1993	1,841	120.9%	712	74.8%	387	483	96.7%	26.2%	216	45.2%	30.3%	447
1994	2,335	126.8%	1,142	160.4%	489	989	204.8%	42.4%	603	279.5%	52.8%	610
1995	1,912	81.9%	888	77.8%	464	461	46.6%	24.1%	295	49.0%	33.3%	641
1996	2,802	146.6%	1,396	157.3%	498	822	178.5%	29.3%	551	186.7%	39.5%	671
1997	4,568	163.0%	1,631	116.8%	357	779	94.8%	17.1%	416	75.4%	25.5%	533
1998	2,327	50.9%	623	38.2%	268	148	19.0%	6.4%	65	15.6%	10.4%	437
1999	2,577	110.7%	607	97.5%	236	110	73.8%	4.3%	50	77.7%	8.3%	460
2000	2,616	101.5%	609	100.3%	233	205	187.4%	7.8%	66	130.8%	10.8%	321
2001	2,175	83.1%	613	100.7%	282	142	69.0%	6.5%	60	91.4%	9.8%	425
2002	10,210	469.5%	2,658	433.3%	260	2,161	1525.2%	21.2%	559	928.1%	21.0%	259
2003	16,791	164.5%	4,269	160.6%	254	2,316	107.2%	13.8%	628	112.2%	14.7%	271
2004	10,089	60.1%	2,933	68.7%	291	1,033	44.6%	10.2%	321	51.1%	10.9%	310
2005	17,099	169.5%	5,350	182.4%	313	1,677	162.4%	9.8%	493	153.9%	9.2%	294
2006	18,761	109.7%	5,697	106.5%	304	2,460	146.7%	13.1%	772	156.5%	13.6%	314
2007	25,728	137.1%	7,994	140.3%	311	4,817	195.8%	18.7%	1,523	197.3%	19.1%	316
2008	25,163	97.8%	7,377	92.3%	293	4,746	98.5%	18.9%	1,441	94.6%	19.5%	304
2009	20,929	83.2%	5,416	73.4%	259	3,736	78.7%	17.9%	979	68.0%	18.1%	262
2010	21,075	100.7%	6,409	118.3%	304	4,517	120.9%	21.4%	1,345	137.3%	21.0%	298
2011	18,205	86.4%	6,500	101.4%	357	6,069	134.3%	33.3%	2,127	158.2%	32.7%	351
2012	9,107	50.0%	3,312	51.0%	364	2,977	49.1%	32.7%	1,050	49.4%	31.7%	353
2013	19,431	213.4%	7,160	216.2%	368	6,979	234.4%	35.9%	2,555	243.3%	35.7%	366
2014	24,118	124.1%	8,642	120.7%	358	8,173	117.1%	33.9%	2,895	113.3%	33.5%	354
2015	34,678	143.8%	13,393	155.0%	386	11,657	142.6%	33.6%	4,444	153.5%	33.2%	381
2016	32,458	93.6%	13,299	99.3%	410	11,671	100.1%	36.0%	4,704	105.9%	35.4%	403
2017	28,724	88.5%	10,948	82.3%	381	9,644	82.6%	33.6%	3,697	78.6%	33.8%	383
2018	34,236	119.2%	13,970	127.6%	408	11,838	122.7%	34.6%	4,810	130.1%	34.4%	406
2019	35,888	104.8%	14,492	103.7%	404	12,317	104.1%	34.3%	5,071	105.4%	35.0%	412
2020	26,927	75.0%	10,702	73.8%	397	9,209	74.8%	34.2%	3,629	71.5%	33.9%	394
2021	37,729	140.1%	16,212	151.5%	430	11,889	129.1%	31.5%	5,086	140.2%	31.4%	428

2. 仕向国(地域)別輸出実績（2021年）

全国						横浜港					
国名	数量(MT)	構成比	金額(百万円)	構成比	通関単価(円/KG)	国名	数量(MT)	構成比	金額(百万円)	構成比	通関単価(円/KG)
全世界（15か国）	37,729	100.0%	16,212	100.0%	430	全世界（7か国）	11,889	100.0%	5,086	100.0%	428
台湾	27,194	72.1%	11,825	72.9%	435	台湾	9,286	78.1%	4,041	79.4%	435
香港	8,706	23.1%	3,503	21.6%	402	香港	2,162	18.2%	795	15.6%	368
タイ	920	2.4%	404	2.5%	439	ベトナム	258	2.2%	162	3.2%	629
ベトナム	395	1.0%	241	1.5%	611	シンガポール	131	1.1%	60	1.2%	460
シンガポール	339	0.9%	139	0.9%	409	タイ	42	0.3%	21	0.4%	516
その他	174	0.5%	100	0.6%	-	その他	10	0.1%	6	0.1%	-

3. 港別輸出実績（2021年）

港名	数量(MT)	構成比	金額(百万円)	構成比	通関単価(円/KG)
全国	37,729	100.0%	16,212	100.0%	430
東京	15,325	40.6%	6,713	41.4%	438
横浜	11,889	31.5%	5,086	31.4%	428
神戸	4,389	11.6%	1,867	11.5%	425
川崎	1,790	4.7%	721	4.4%	403
大阪	1,165	3.1%	497	3.1%	426
その他	3,170	8.4%	1,329	8.2%	-

りんごの輸出に係る各種データ

※2022年1月は確報値、2021年は確々報値、その他は確定値

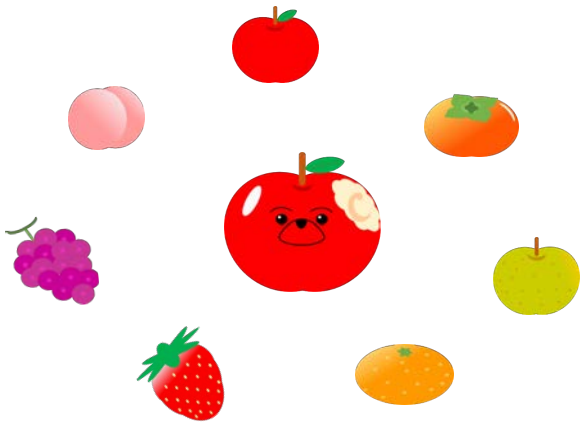
４．全国と横浜港の月別輸出実績推移

年月	全　国		横浜港	
	数　量（MT）	金　額（百万円）	数　量（MT）	金　額（百万円）
2018. 9	1, 873	765	780	320
2018. 10	5, 285	2, 110	2, 321	908
2018. 11	4, 123	1, 712	1, 361	573
2018. 12	7, 611	3, 295	2, 610	1, 105
2019. 1	6, 320	2, 726	2, 105	936
2019. 2	2, 397	880	608	226
2019. 3	2, 378	841	709	240
2019. 4	1, 414	526	461	172
2019. 5	506	196	213	76
2019. 6	601	250	255	100
2019. 7	243	106	68	28
2019. 8	445	210	144	58
2019. 9	1, 693	659	471	185
2019. 10	5, 152	1, 821	1, 655	582
2019. 11	5, 380	2, 217	2, 272	975
2019. 12	9, 360	4, 060	3, 359	1, 493
2020. 1	3, 392	1, 398	1, 143	479
2020. 2	2, 309	863	868	330
2020. 3	2, 048	775	576	219
2020. 4	1, 460	581	297	123
2020. 5	512	220	200	80
2020. 6	139	69	42	20
2020. 7	129	72	73	35
2020. 8	198	98	60	26
2020. 9	918	394	229	95
2020. 10	5, 126	1, 890	1, 952	695
2020. 11	3, 698	1, 459	1, 331	500
2020. 12	6, 999	2, 883	2, 436	1, 026
2021. 1	9, 793	3, 976	3, 336	1, 336
2021. 2	2, 058	742	722	261
2021. 3	2, 451	847	757	251
2021. 4	1, 306	491	122	45
2021. 5	552	196	98	35
2021. 6	791	288	208	76
2021. 7	348	138	118	47
2021. 8	392	189	87	33
2021. 9	1, 089	429	400	156
2021. 10	4, 554	1, 774	1, 554	606
2021. 11	5, 260	2, 440	1, 558	735
2021. 12	9, 135	4, 704	2, 928	1, 505
2022. 1	3, 446	1, 661	1, 094	520

５．主な果物の輸出実績（2021年）

種類	数　量（MT）	金　額（百万円）
りんご	37,729	16, 212
桃	1, 926	2, 322
ぶどう	1, 837	4, 629
いちご	1, 776	4, 061
みかん	1, 698	944
梨	1, 313	961
柿	645	440

６．りんごの都道府県別収穫量（2020年産）

地 域	収穫量（MT）
全　　国	763, 300
青　　森	463, 000
長　　野	135, 400
岩　　手	47, 200
山　　形	41, 500
秋　　田	25, 200
そ　の　他	51, 000

出典：農林水産省　果樹生産出荷統計